

報道関係者各位

## ウィズセキュア、パートナー向けに『Exposure Management』の 早期パイロットプログラムを提供開始

～ 企業のデジタルエクスポージャーを 360° 継続的に可視化／発見、AI の活用で修復の対策を提案 ～

2024 年 3 月 26 日  
ウィズセキュア株式会社

先進的サイバーセキュリティテクノロジーのプロバイダーである WithSecure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Juhani Hintikka、日本法人: 東京都港区、以下、ウィズセキュア) は、本年 5 月 28 日～29 日に同社がヘルシンキで開催するイベント『SPHERE24』でローンチを予定している、インテリジェントなエクスポージャー管理ソリューション『Exposure Management』(以下、XM) のパートナー向け早期パイロットプログラムの提供を開始することを発表しました。これにより、同社のパートナーは侵害への事前対応型の対策を先行して体験することができます。XM は WithSecure™ Elements Cloud に追加される最新の製品であり、急速に拡大する攻撃対象領域、サイバー犯罪の専門化、そして自社のセキュリティ関連リソースの最適化といった課題を抱える中堅・中小企業がより積極的にサイバーセキュリティ対策をおこなうことを可能にするものです。

最近ヨーロッパで実施された調査によると、EU の企業のおよそ 5 社に 1 社以上 (22%) が、サービスのダウンタイムやデータ消失につながるセキュリティインシデントに見舞われています。<sup>\*1</sup> さらに、サプライチェーン攻撃によるインシデントの割合は、2020 年に 1%だったものが 2021 年には 17%に急増しています。<sup>\*2</sup>

ウィズセキュアで Exposure Management のプロダクトディレクターを務める Mika Lindroos (ミカ・リンドロース) は、企業が直面する状況について次のように述べています。

「技術の進歩はサイバー攻撃のビジネス化を加速させており、企業は、人間が修正するよりもはるかに速くセキュリティ上の弱点を見つけるサイバー攻撃者に対峙しなければなりません。クラウドの設定ミス、分散化、サプライチェーンの複雑化、管理対象／非管理対象デバイス、Web アプリケーション、SaaS サービスの増加などを考慮すれば、侵害の数が増え続けているのも無理はありません。」



WithSecure Elements Exposure Management は、主に中堅・中小企業にサービスを提供するセキュリティサービスパートナー向けに設計されています。このソリューションにより、セキュリティ運用チームはデジタル資産全体を 360° 可視化し、サイバー犯罪者よりも先にデジタルエクスポージャーとシミュレートされた攻撃経路を常に発見できるようにします。すべてのエクスポージャーが同じではないことを踏まえ、このソリューションは AI モデルを使用して、エクスポージャーを効果的に修復するための最適なアクションの優先順位付けと推奨を行います。必要に応じて、複雑な修復アクションをウィズセキュアの専門家チームに依頼することもできます。

ウィズセキュアのパートナーは XM の早期パイロットプログラムに参加することでエクスポージャー管理への需要の増加に対応することができ、市場において他社との差別化を図ることができます。サイバー脅威のエクスポージャー管理の最新トレンドとベストプラクティスにより、パートナーは自社の価値を向上させ、ユーザー企業から信頼を寄せられるアドバイザーとしての立場を強化することができます。

Exposure Management は、本年 5 月 28 日～29 日にヘルシンキで開催されるウィズセキュアの年次イベント『SPHERE24』でパートナー／ユーザー企業向けにローンチし、また中堅・中小企業向けには本年下半期に提供開始となる予定です。

WithSecure Elements Exposure Management およびパートナー向け早期パイロットプログラムに関する詳細は、以下をご覧ください。

<https://www.withsecure.com/jp-ja/expertise/topicals/exposure-management-partners>

\*1

Eurostat: 22% of EU enterprises had ICT security incidents

<https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/w/EDN-20230214-1>

\*2

EU Agency for Cybersecurity: Top cyber threats in the EU

<https://www.consilium.europa.eu/en/infographics/cyber-threats-eu/>

ウィズセキュア Web サイト:

<https://www.withsecure.com/jp-ja/>

ウィズセキュアプレスページ:

<https://www.withsecure.com/jp-ja/whats-new/pressroom>

## **WithSecure™について**

ウィズセキュアは、多くのヨーロッパ企業に選ばれるサイバーセキュリティパートナーです。世界中の IT サービスプロバイダー、MSSP、ユーザー企業から、中堅・中小企業を保護するアウトカム(成果)ベースのサイバーセキュリティソリューションにおいて大きな信頼を勝ち取っています。ウィズセキュアはヨーロッパにおけるデータ保護の規制に準拠し、プライバシー、データ主権、コンプライアンスに注力しています。

当社は 35 年以上の経験を持ち、ユーザー企業の消極的／保守的なサイバーセキュリティ対策から積極的／先進的なアプローチへのパラダイムシフトのサポートのためのポートフォリオを持っています。ウィズセキュアはパートナーとの協力的な成長へのコミットメントに基づく柔軟な商業モデルを提供し、ダイナミックなサイバーセキュリティの世界において両者の成功を保証します。

ウィズセキュアの最先端のポートフォリオの中心となるのは、AI を搭載したテクノロジー、人の専門知識、コ・セキュリティ (共同セキュリティ) サービスをシームレスに統合する Elements Cloud です。さらに、エンドポイントおよびクラウドの保護、脅威の検出と対応、エクスポージャー管理にまたがるモジュール式の機能により、中堅・中小企業ユーザーのセキュリティ対策を強固なものとしします。

1988 年に設立されたウィズセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるウィズセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQ ヘルシンキに上場しています。詳細は [www.withsecure.com](http://www.withsecure.com) をご



覧ください。また、X (旧 Twitter) アカウント @WithSecure\_JP [https://twitter.com/WithSecure\\_JP](https://twitter.com/WithSecure_JP) でも情報の発信をおこなっています。